

発見!

# 牛久のお宝

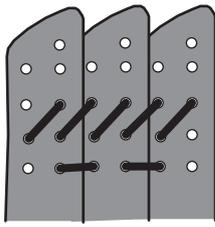
問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

## 第5回 戦国期の牛久



茶入 (高さ4.6cm)  
小札(長さ6.5cm)

戦国時代の牛久市は、後北条氏と佐竹氏が激しく対立し、合戦のやむことのない地域でした。そのため、牛久城(城中町)や東林寺城(新地町)など、防衛のための城郭が築されました。牛久城の北側に位置する明神遺跡(城中町)は、平成25年に太陽光発電設備設置事業に伴う発掘調査が行われ、台地を縦横に区切る、深さ最大約3mの堀などが見つかりました。遺跡からは鉄砲玉や鉄鏃などの武器や、小札(鏡の部品)などの武具が発見され、ここが戦いの地であったことを物語っています。また、天目茶碗や茶入などの茶道具が見つかっており、茶の湯をたしなむ武士の存在をうかがうことができます。



小札の使用例



◆今回紹介した小札や茶入は、かっぱの里ギャラリー(かっぱの里生涯学習センター内)で展示中

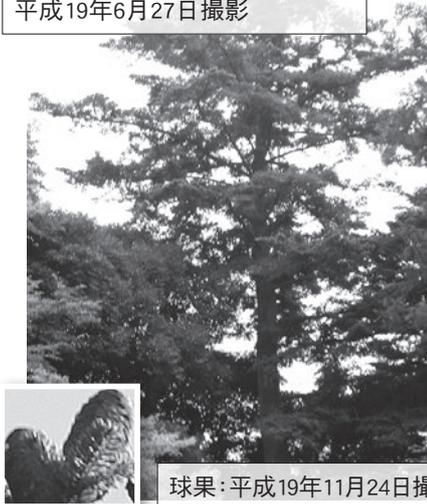
# 里山の樹木

問 都市計画課 ☎内線2524

第24回

## モミ

モミの樹形：桂町の金剛院境内  
平成19年6月27日撮影



球果：平成19年11月24日撮影

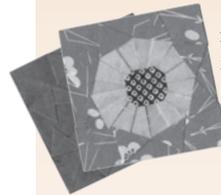
マツ科モミ属の常緑針葉樹で、幹は真つすぐに育ち円錐形の高木になります。日本特産種。岩手・秋田県〜屋久島に分布し、県内では全域にあり、筑波山には巨樹の森林があります。市内では社寺の境内に古木が自生しています。

## 文芸さろん | 師走 |

枯色の中に埋れて赤のまま  
長雨に紙面にぎわう行楽地  
老いた木に残り実ひとつのこり柿  
売れ残る敬老の日の和菓子かな  
野紺菊会釈するだけだった人  
藪枯らし空家この頃あちこちに  
折り紙に願いをこめた敬老の日

草葉

高階さん  
和多田さん  
月田さん  
進の介  
淑子  
秋穂



草葉

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など  
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1  
「広報うしく文芸さろん」係 FAX：873-2512  
E-mail：kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp  
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

す。葉は線形、長さ15〜30mm、若木では先が鋭く2裂し、裏面には2条の灰色の気孔帯があります。花は5月、雄花は黄緑色で円筒状に集まり、長さ1cm、雌花は緑色で、多数の雌鱗片(めすりんぺん)からなります。球果は円筒形で長さ9〜13cm、10月に成熟。材は色が淡黄白色で美しく上品、もろく燃えやすく、腐りやすいため、葬具・棺などに使われてきました。名前の由来は不明です。

※牛久の里山樹木ハンドブック79ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森 ☎874-6600まで。

【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章：平塚芳雄、写真：樹形渡辺泰・球果：戸塚昌宏)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)